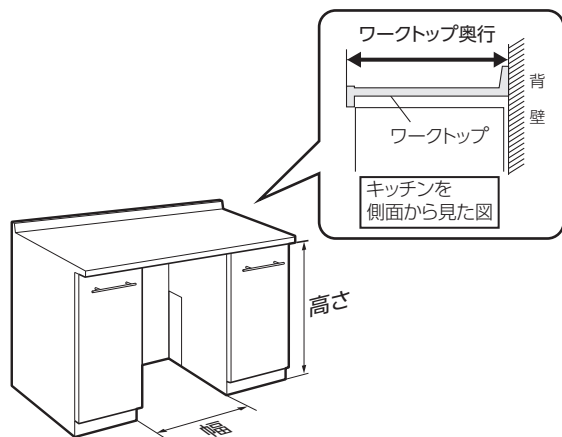


1 作業前の確認

■ 設置空間条件の留意点



ビルトイン寸法

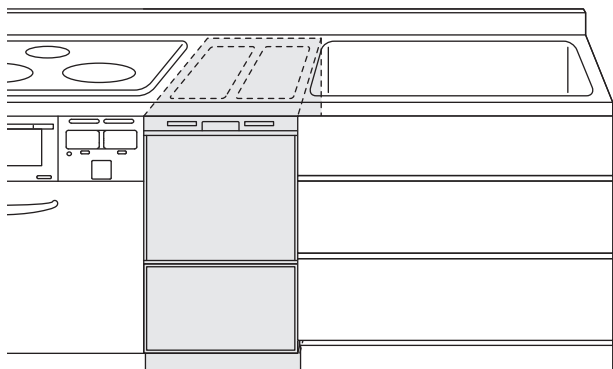
ワークトップ奥行	650 mm*以上
キャビネット幅	450 mm以上
床からカウンター下端までの高さ	807 mm以上

※扉材の最大厚み21 mm、ライン取っ手スペース4 mmの場合の本製品の最大奥行寸法は600 mmのため、ワークトップ奥行600 mmのキッチンでも設置できる場合があります。

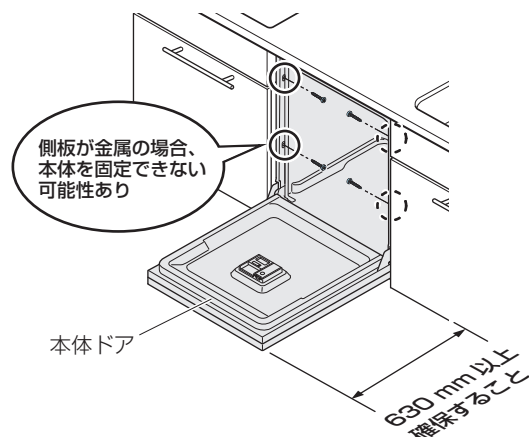
【ご注意】

食洗機の設置スペースに既設電源がある場合、シンク下に移設できるかどうか確認してください。

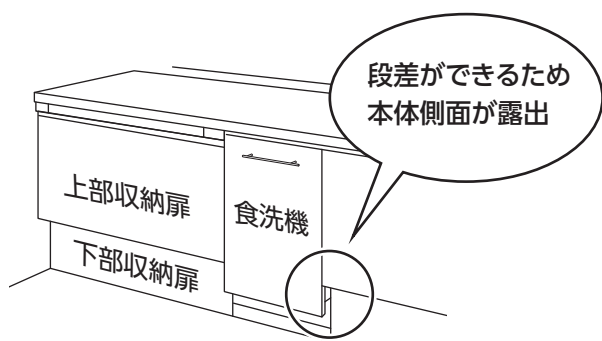
- 既設のプルオープンタイプ食洗機がシンクキャビネットの隣に設置されていないと設置できません。



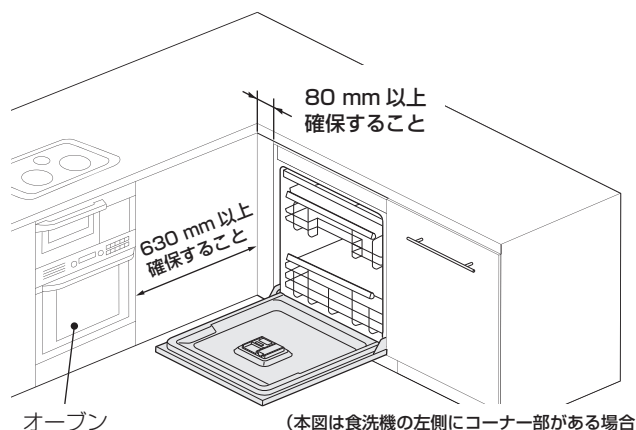
- キッチンの通路幅が630 mm以上必要です。キャビネットが木製または樹脂以外の場合、ネジで固定できず食洗機本体を設置できないおそれがあります。



- 下部収納扉に対し、上部収納扉が飛び出したデザインのキッチンには設置できません。食洗機の扉を開く際に側面で手指を挟むおそれがあります。



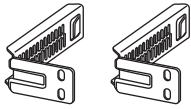
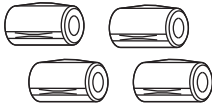
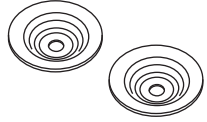
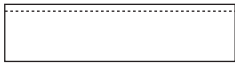
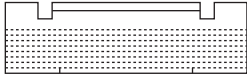

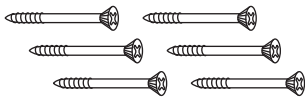
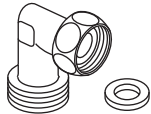
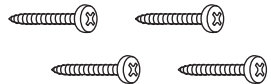
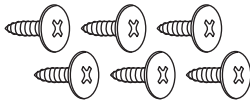
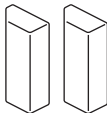
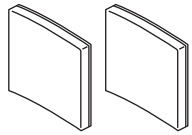
- L型コーナー部に設置する場合



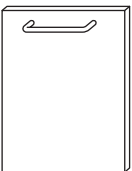
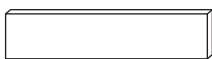
(本図は食洗機の左側にコーナー部がある場合の例です。右側にある場合も同様です。)

■ 買替え施工の際に必ず使用する部品

• NP-45EF1WPE 同梱品

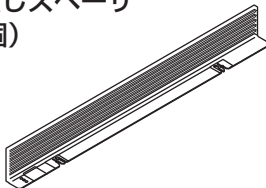
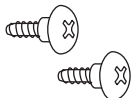
<p>ケコミカバー 取付金具A (2個)</p> 	<p>側面固定用スリーブ (4個)</p> 	<p>面材仮固定金具 (2個)</p> 
<p>保護シート (面材用) (1枚)</p> 	<p>保護シート (ケコミ用) (1枚)</p> 	<p>保護シート (ワークトップ用) (1枚)</p> 
<p>面材固定用ネジ (42 mm : 6本)</p> 	<p>エルボ (1個) パッキン (1個)</p> 	<p>側面固定用ネジ (27 mm : 4本)</p> 
<p>ケコミカバー固定用ネジA (12 mm : 4本) 面材仮固定用ネジ (12 mm : 2本)</p> 	<p>側面パッド (2個)</p> 	<p>側面シート (2枚)</p> 

• 別途準備品

<p>食洗用扉 (ドア面材)</p> 	<p>ケコミカバー</p> 
--	---

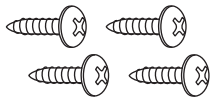
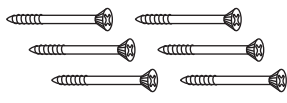
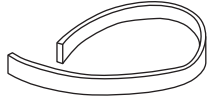

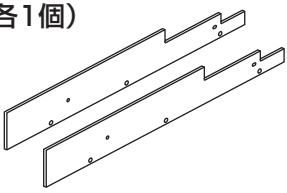
■ キッチンの高さに応じて使用する部品

• NP-45EF1WPE 同梱品

<p>目隠しスペーサ (1個)</p> 	<p>目隠しスペーサ固定用ネジ (段付き 12 mm : 2本)</p> 
---	--

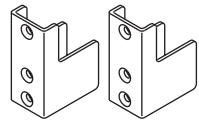
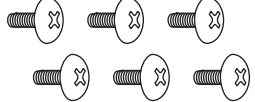
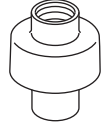
■ ライン取っ手のドア面材を独自で手配する場合に使用する部品

• NP-45EF1WPE 同梱品

<p>面材仮固定用ネジ (ライン取っ手スペーサ使用時) (16 mm : 4本)</p> 	<p>面材固定用ネジ (ライン取っ手スペーサ使用時) (46 mm : 6本)</p> 	<p>ドアクッションA (t5 : 1個)</p> 
<p>ドアクッションB (t3 : 1個)</p> 	<p>ライン取っ手スペーサ (左右各1個)</p> 	

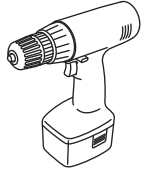
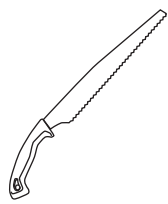

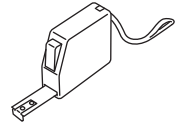
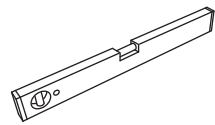
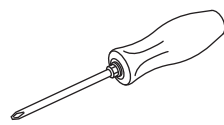
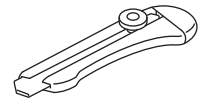
■ 買替え施工の際に使用しない部品

• NP-45EF1WPE 同梱品

<p>ケコミカバー取付金具B (2個)</p> 	<p>ケコミカバー固定用ネジB (8 mm : 6本)</p> 	<p>臭気止めパッキン (1個)</p> 
---	---	--

■ 主要工具類

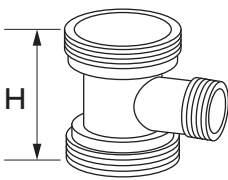
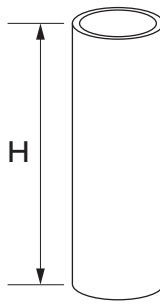
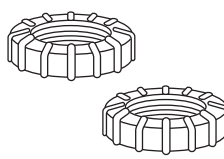
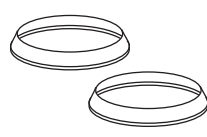
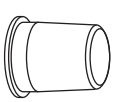
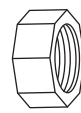
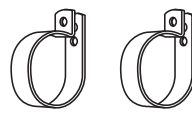

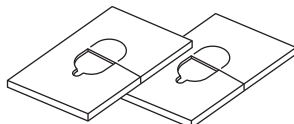

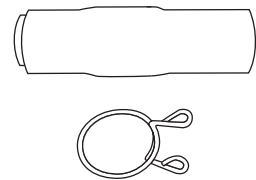
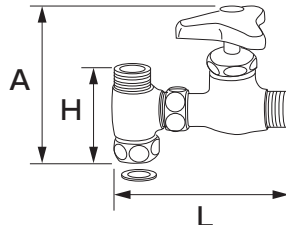
• 施工に必要な主要工具類です。事前に準備をお願いします。

<p>電動ドライバー・ 電動ドリル</p> 	<p>ノコギリ</p> 	<p>モンキーレンチ</p> 	<p>スケール</p> 
<p>水準器</p> 	<p>ドライバー</p> 	<p>カッターナイフ</p> 	

■ 買替え施工の際に必ず使用する施工関連部材

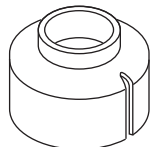

● パナソニック製フロントオープン食器洗い乾燥機設置用給排水接続キット(N-KH51)

• N-KH51 同梱品

<p>排水チーズ (1個) H=84 (部品単品するとき) H=96 (2インチナットを上下に取り付けているとき)</p>  <p>(PF1/2インチネジ)</p>	<p>排水管 (1個) (VP40)</p>  <p>H=160</p>	<p>2インチナット (2個)</p> 	<p>三角パッキン (2個)</p> 
<p>1インチインナー (1個) パッキン付</p> 	<p>1インチナット (1個)</p> 	<p>ホースホルダー (2個)</p> 	<p>ネジ 4×12 (2本)</p> 
<p>ホースアナカバー (2個)</p> 	<p>ホースバンド (小) (1個)</p> 	<p>ホースジョイント (1個) ホースバンド (1個)</p> 	<p>分岐止水栓(G1/2)(1個) パッキン (1個) 全体長さ L = (99.5) 全体高さ A = (86) チーズ部 H = (45)</p> 

■ プルオープンタイプからフロントオープンタイプへの買替え施工の際に使用しない施工関連部材

• N-KH51 同梱品

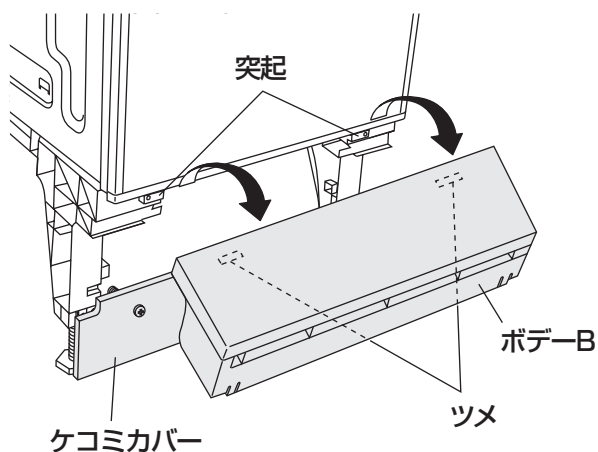
<p>ハイスイホースホルダー (1個)</p> 	<p>ホースバンド (大) (1個)</p> 
---	--

2 現状機器の取り外し・引き抜き

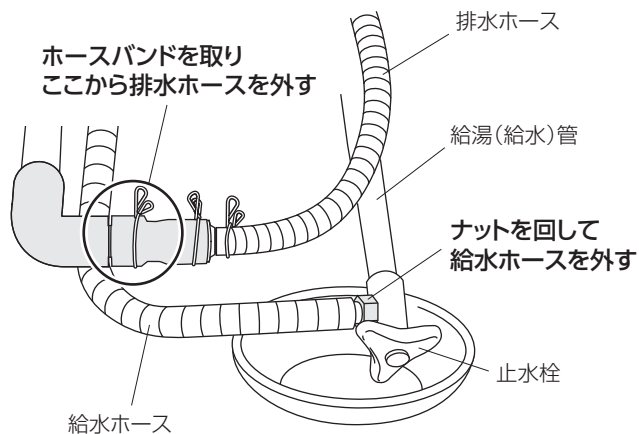
●既設ディープタイプを台枠ごと撤去する場合

① 給・排水ホースの取り外し

- 1) 点検口 (ボデー B) を取り外します。
- 2) ケコミカバーを取り外します。



- 3) 止水栓を完全に閉め、給・排水ホースを配管から外します。

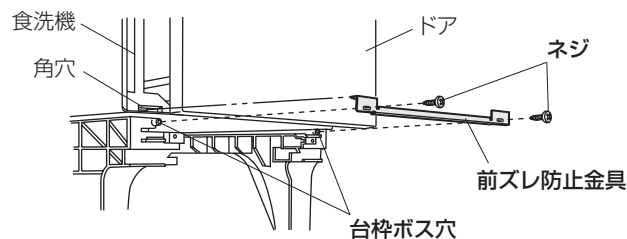


【ご注意】

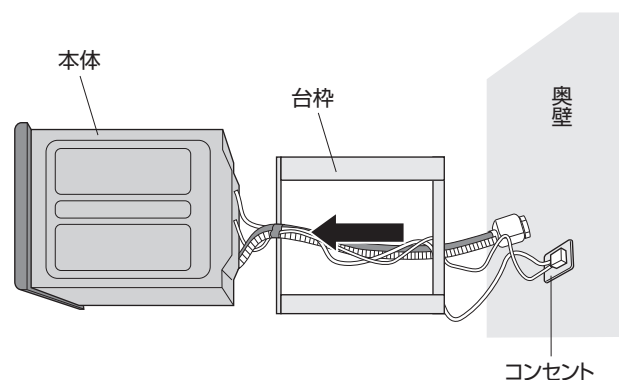
ホース内の残水で床を濡らすおそれがありますので、受け皿やウエスを用意してください。

② 現状機器の引き抜き

- 1) 前ズレ防止金具を取り外します。



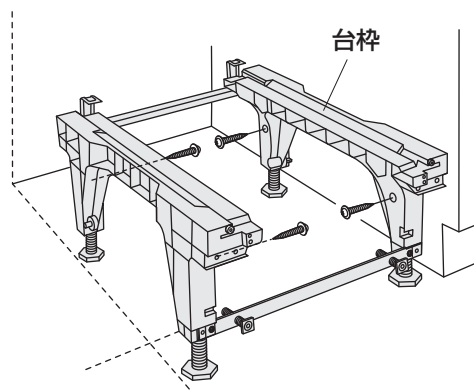
- 2) 食洗機本体を持ち、水平方向に引き出します。



- 3) 電源プラグ・アース線を外します。

③ 台枠の撤去

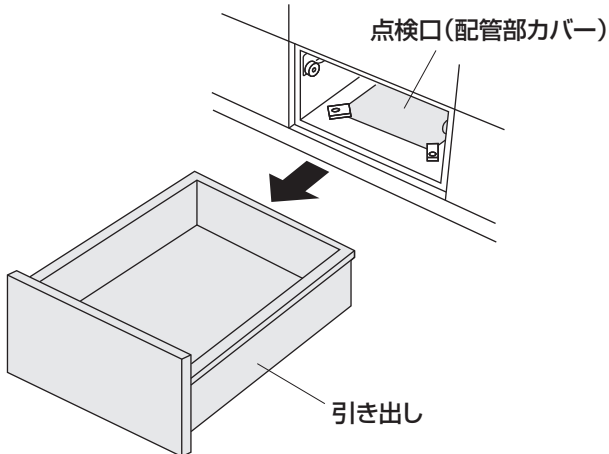
- 1) 隣接のキャビネット、または床への固定箇所をすべて取り外して台枠を撤去します。



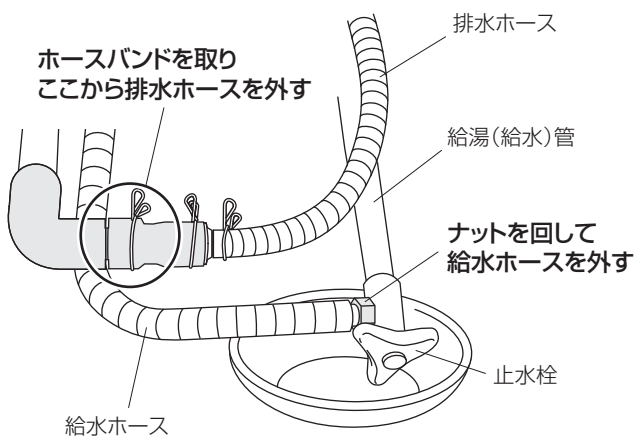
● 下部収納キャビネットを撤去して既設ディープタイプ、既設ミドルタイプから入れ替える場合

1 給・排水ホースの取り外し

- 1) 下部収納部の引き出しを取り外します。
- 2) 底部にある点検口（配管部カバー）を取り外します。



- 3) 止水栓を完全に閉め、給・排水ホースを配管から外します。

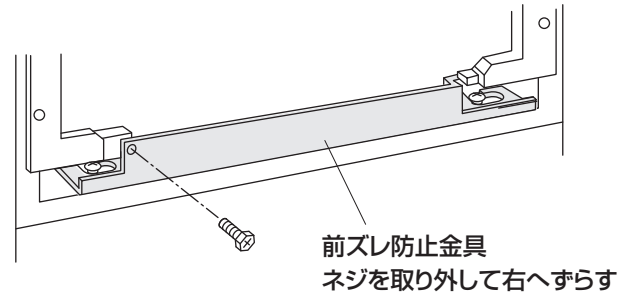


【ご注意】

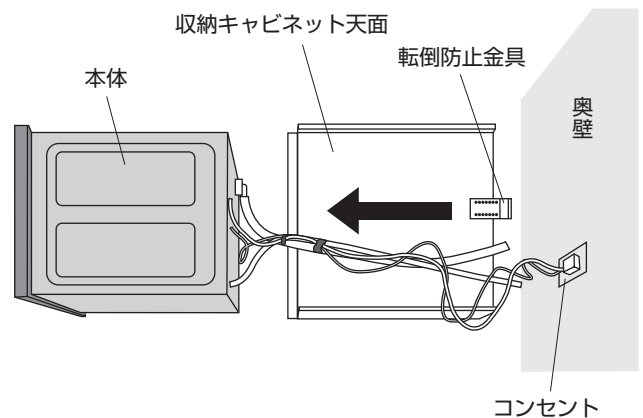
- ・ 下部収納の形状によって、給排水接続部の位置が、引き出しの奥にある場合もあります。
- ・ ホース内の残水で床を濡らすおそれがありますので、受け皿やウエスを用意してください。

2 現状機器の引き抜き

- 1) 前ズレ防止金具を取り外します。



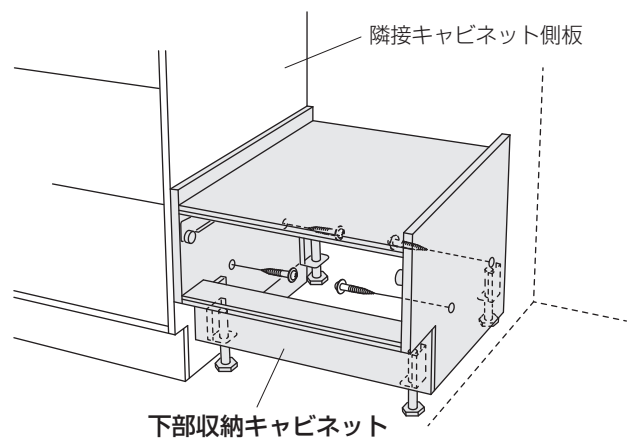
- 2) 食洗機本体を持ち、水平方向に引き出します。



- 3) 電源プラグ・アース線を外します。

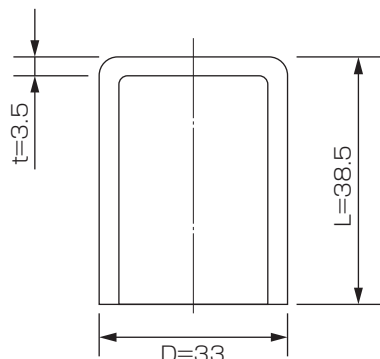
3 下部収納キャビネットの撤去

- 1) 隣接のキャビネット、または床への固定箇所をすべて取り外します。



3 排水管周りの仕舞い処理

事前に市販の TS キャップをご用意ください。



呼径 20 のキャップを選定してください。

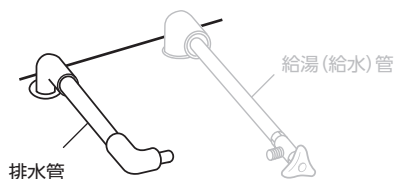
参考) TS キャップ I 型 (JIS K 6743)

呼径 \ 記号	D	t	L
20	33.0	3.5	38.5

排水管の設置パターンに応じて設置します。

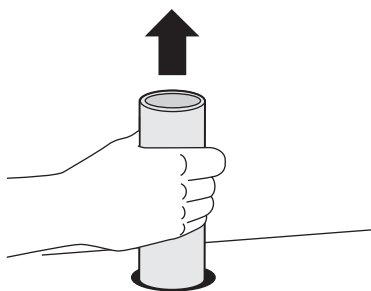
1 床立ち上げ配管の場合

床立ち上げ配管



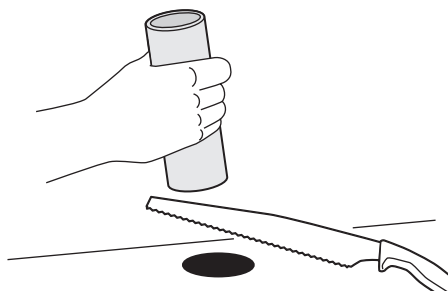
● 排水管を上下に動かせる場合

1) 排水管を上方に引っ張ります。

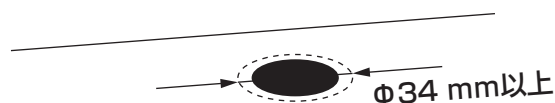


2) キャップ時の床の引っ張りを抑えるため、片手で排水管を上方に引っ張ったまま排水管をカットします。

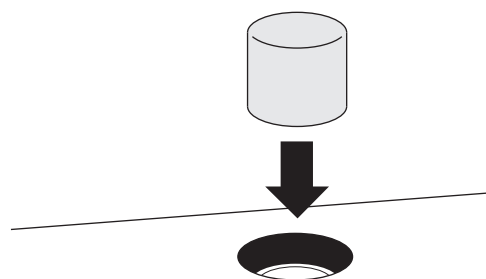
※引っ張り過ぎると排水管にキャップできないので注意してください。



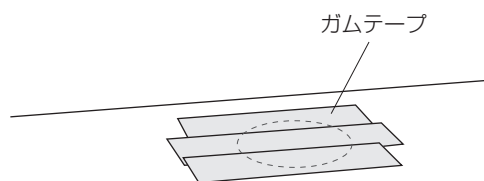
3) カット後の排水管にキャップできるような下穴加工 (Φ34 mm以上) を行います。



4) 床下の排水管の上端をキャップし、仕舞い処理を行います。このとき、床上からキャップがはみ出さないようにしてください。

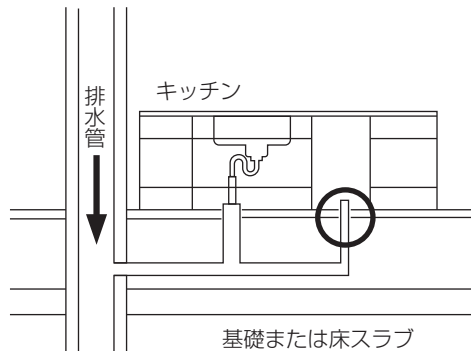
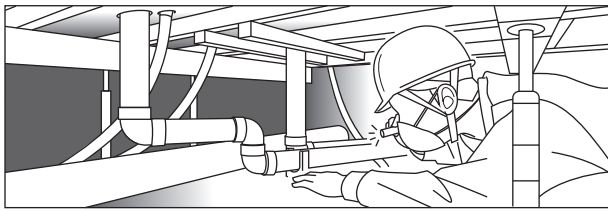


5) 仕舞い処理が終わったら、設置の邪魔にならないように上からガムテープなどを貼り付けます。

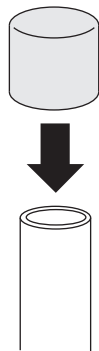


●排水管が固定されている場合

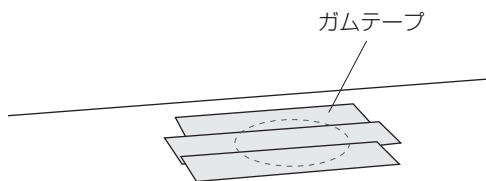
- 1) 近くの点検口から床下に潜り込み、床下配管部の○印部分をカットします。



- 2) 排水管の上端をキャップし、仕舞い処理を行います。

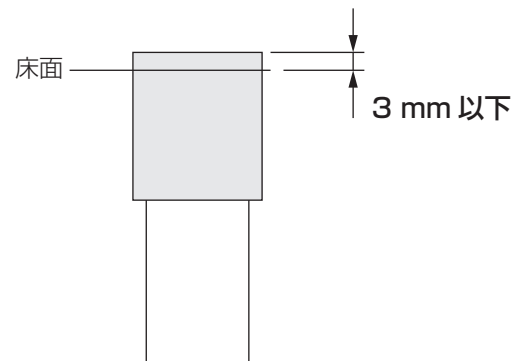


- 3) 仕舞い処理が終わったら、設置の邪魔にならないように上からガムテープなどを貼り付けます。



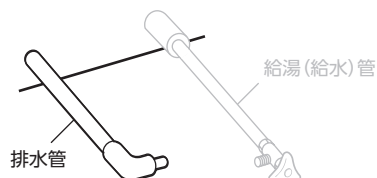
【参考】

TS キャップが床から出てしまう場合、出代は1～3 mm以内になるようにしてください。

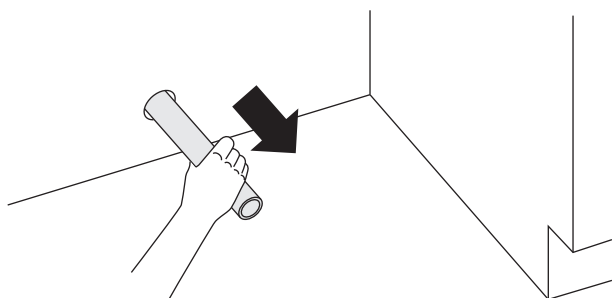


② 壁出し配管の場合

壁出し配管



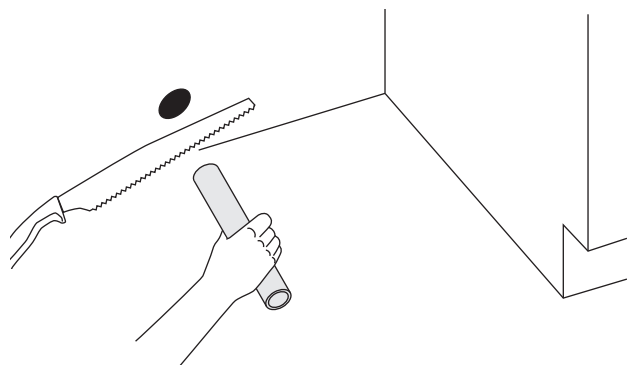
- 1) 排水管を前方に動かせることを確認します。



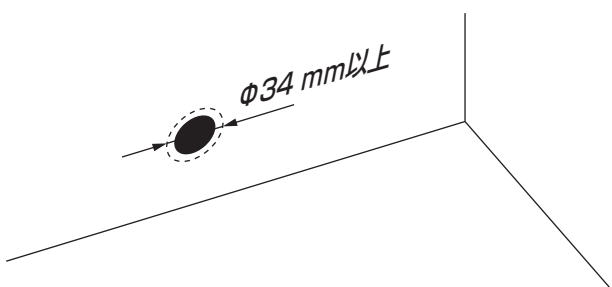
- 2) 排水管を片手で前方に引っ張ったまま排水管をカットします。

排水管を前方に動かせない場合は、可能な限り短くなるようにカットします。

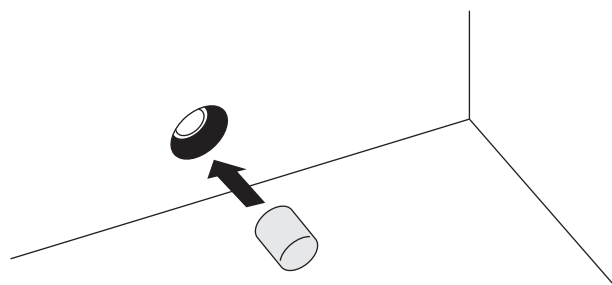
※引っ張り過ぎると排水管にキャップできないので注意してください。



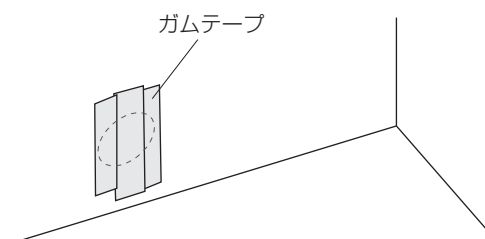
- 3) カット後の排水管にキャップできるような下穴加工 (Φ34 mm以上) を行います。



- 4) カットした排水管の先端にキャップし、仕舞い処理を行います。



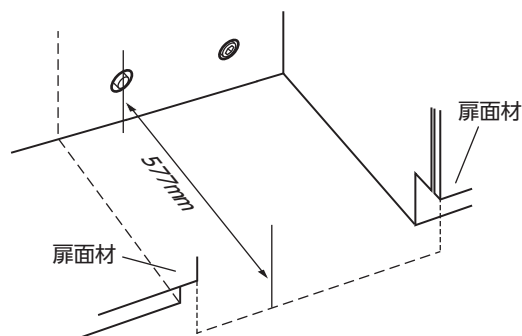
- 5) 仕舞い処理が終わったら、設置の邪魔にならないように上からガムテープなどを貼り付けます。



【ご注意】

TS キャップが壁から飛び出してしまう場合、隣接扉面材の前面からキャップの先端まで577 mm 以上 (※) 確保できているか確認してください。

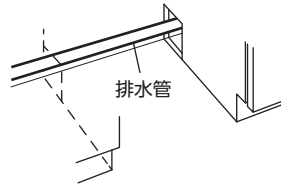
確保できない場合は、食洗機と排水管が干渉し設置できません。



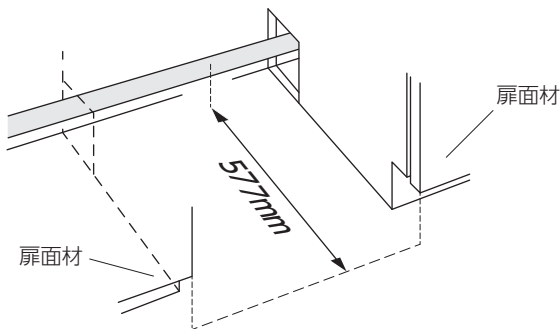
※扉材の最大厚み21mm + ライン取手スペーサ4mm + 本体奥行551.5mm = 577mm

③ 床ころがし配管 (横引き配管) の場合

床ころがし配管 (横引き配管)



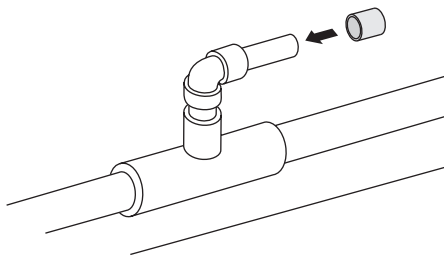
- 1) 隣接扉面材の前面からキャビネット内を横切る排水
管まで、577 mm以上 (※) のスペースがあることを
確認する。



【ご注意】

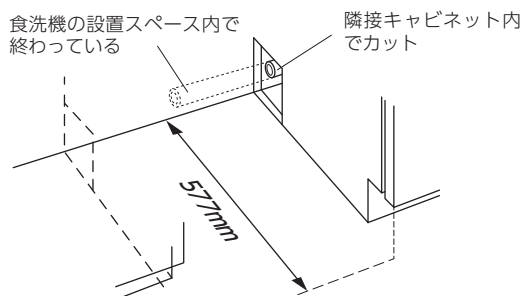
577mm以上 (※) のスペースがない場合は、食洗
機と排水管等部材の干渉により設置できません。

- 2) 排水管の先端にキャップし、仕舞い処理を行います。



【参考①】

十分なスペースを確保できなかった際は、壁面から扉
面材までの距離が577 mm以上 (※) であり、排水
管が設置スペース内で終わっているかを確認してくだ
さい。その場合、隣接キャビネット内で排水管をカット
することで設置が可能になります。



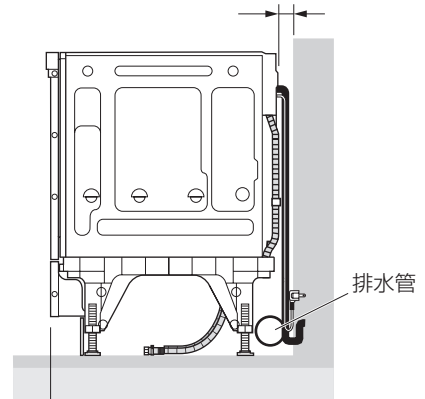
【参考②】

プルオープンタイプは庫内容量よりも設置性を重視し
ているため、排水管に干渉せず設置できます。

一方、フロントオープンタイプは最大限の庫内容量を
確保するために奥まで庫内になっており、排水管と干
渉してしまいます。そのため、隣接扉面材の前面から
排水管まで577 mm以上 (※) のスペースがあるキッ
チンしか設置することができません。

排水管が干渉しないため
奥まで押し込むことができる

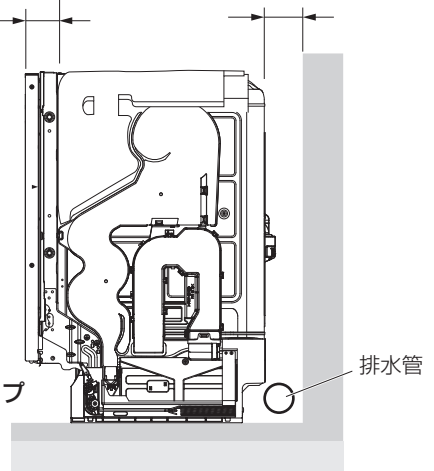
プルオープン タイプ



奥まで押し込めない分
前が飛び出る

排水管が干渉し奥まで
押し込むことができない

フロント オープンタイプ

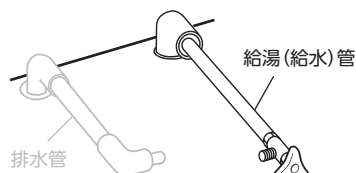


※扉材の最大厚み 21mm + ライン取手スパーサ 4mm + 本体奥行 551.5mm = 577mm

4 給湯（給水）管周りの仕舞い処理

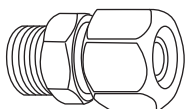
給湯（給水）管の設置パターンに応じて設置します。

① 床立ち上げ配管の場合

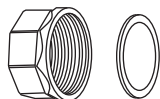
床立ち上げ
配管

事前に市販の下図のものをご用意ください。

おねじ水栓アダプター
(G1/2 ネジ × 樹脂管 13A 用)

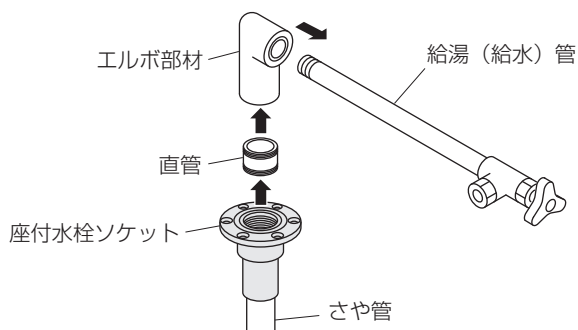


パッキン付き袋ナット
(ネジ径 G1/2)

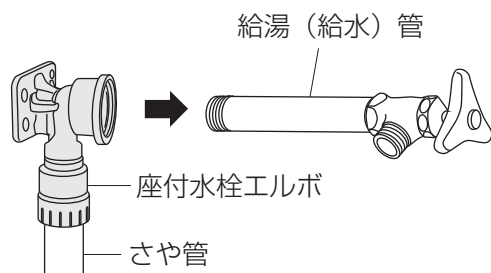


- 1) 床上の先端につながる配管（水栓等）を取り外します。

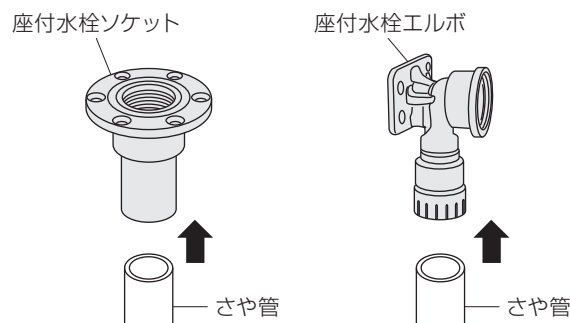
座付水栓ソケットの場合



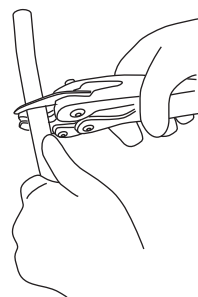
座付水栓エルボの場合



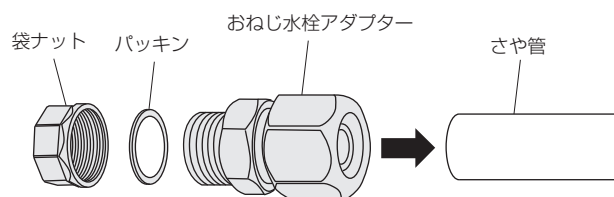
- 2) 座付水栓ソケットや座付水栓エルボをさや管（ポリエチレン管）から取り外します。



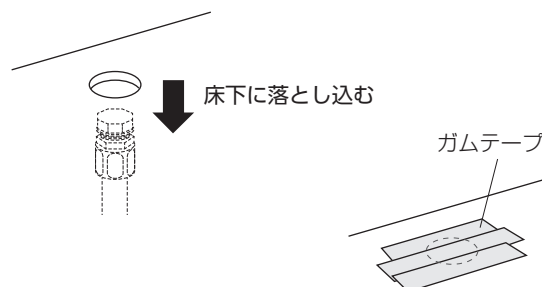
- 3) さや管（ポリエチレン管）が長い場合は、床下に落とし込めるような長さまでカットします。



- 4) さや管（ポリエチレン管）の先端にアダプターを取り付けて袋ナットで止水処理します。
※袋ナット取り付けの際は必ずパッキンも取り付けてください。

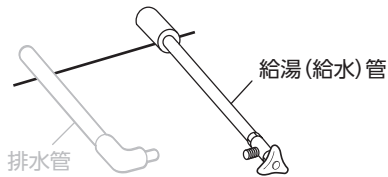


- 5) 止水処理後、水道の元栓を開けて水漏れがないことを確認し、元栓を閉めてから床下に落とし込みます。設置の邪魔にならないように上からガムテープなどを貼り付けます。



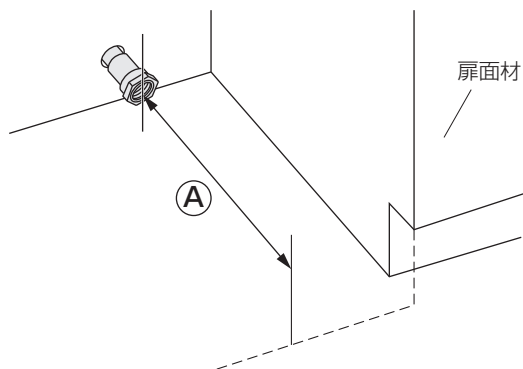
② 壁出し配管（フランジ接続）の場合

壁出し配管 （フランジ接続）

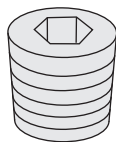


壁出し配管の長さによって事前に用意する部材が異なります。

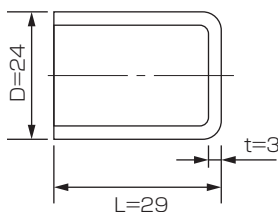
隣接扉面材の前面からテーパネジの出代までの距離を①とします。



①が577 mm(※)以上の場合、テーパネジ (PT1/2) を用意します。



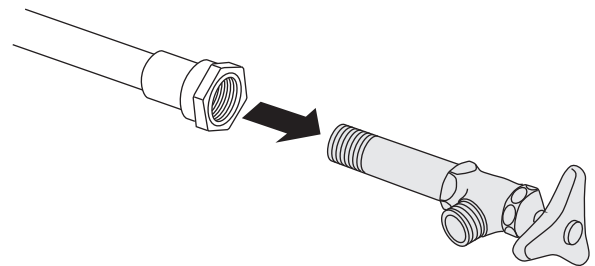
①が577 mm(※)未満の場合、呼径13のTSキャップを用意します。



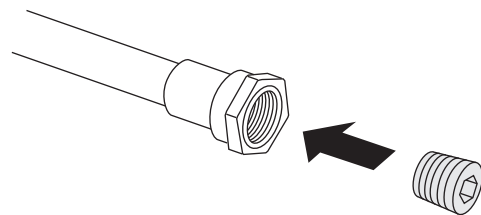
参考) TSキャップI型
(JIS K 6743)

記号 呼径	D	t	L
13	24.0	3.0	29.0

1) 先端につながる配管（水栓等）を取り外します。



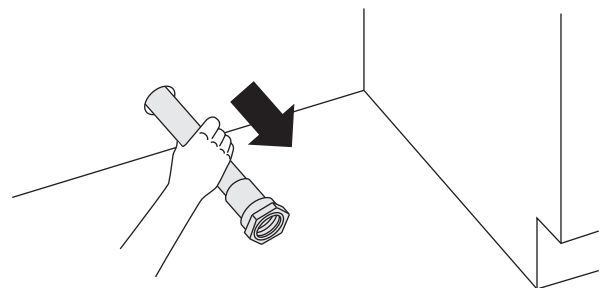
2) テーパネジ (PT1/2) にシールテープを巻き付けて、フランジにねじ込み止水処理します。



【ご注意】

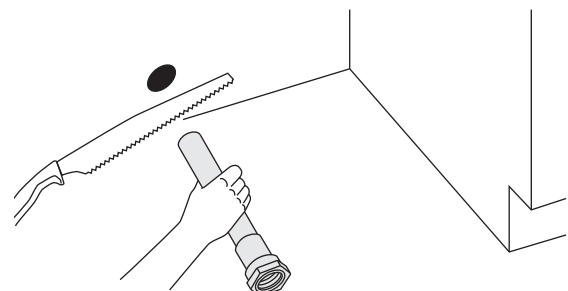
隣接扉面材の前面からテーパネジの出代までの距離が577 mm (※) 以上確保できない場合は、3) 以降を参考に給湯（給水）管をカットしてください。

3) 給湯（給水）管を前方に動かせることを確認します。



4) 給湯（給水）管を片手で前方に引っ張ったままカットします。カット後に給湯（給水）管が壁面から飛び出していないことを確認します。

※引っ張り過ぎると給湯（給水）管にキャップできないので注意してください。



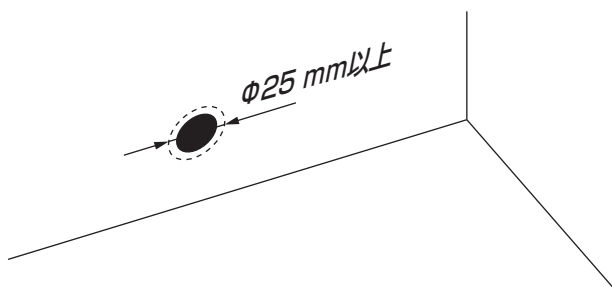
※扉材の最大厚み 21mm + ライン取手スパーサ 4mm + 本体奥行 551.5mm = 577mm

1 買替え施工の手順

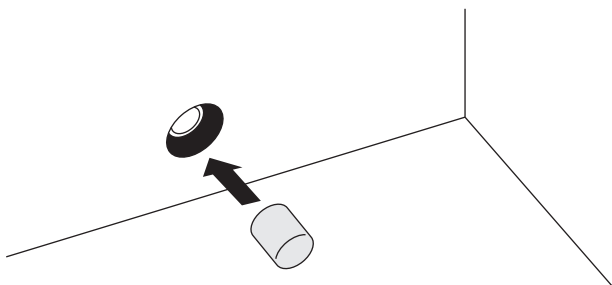
NP- 45EF1WPE

幅45^{cm}
機種

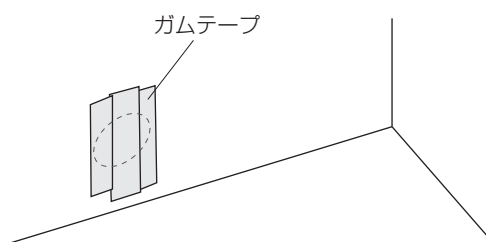
- 5) カット後の給湯（給水）管にキャップできるような下穴加工（ $\phi 25$ mm以上）を行います。



- 6) カットした給湯（給水）管の先端にキャップし、仕舞い処理を行います。

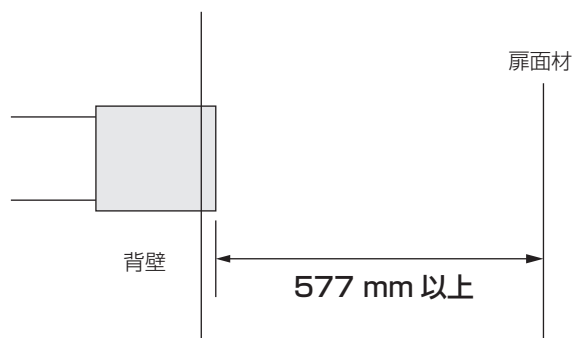


- 7) 仕舞い処理が終わったら、水道の元栓を開けて水漏れがないことを確認し、元栓を閉めます。設置の邪魔にならないように上からガムテープなどを貼り付けます。



【ご注意】

TS キャップが壁から飛び出してしまう場合、隣接扉面材の前面からキャップの先端まで577 mm以上（※）確保できているか確認してください。確保できない場合は、食洗機と排水管が干渉し設置できません。



※扉材の最大厚み 21mm + ライン取手スペーサ 4mm + 本体奥行 551.5mm = 577mm

5 電源、アースの移設

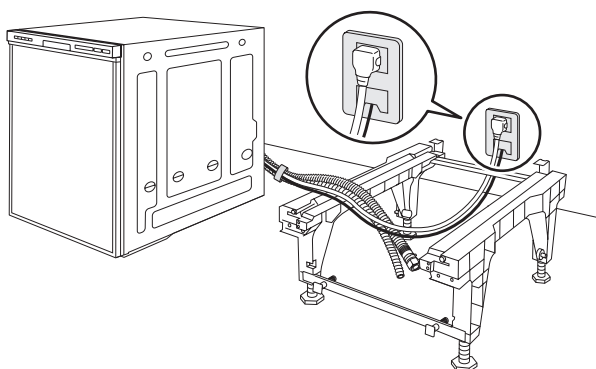
既設食洗機の背面付近に設置されている電源コンセントを撤去して、シンク下のスペースに移設してください。

【ご注意】

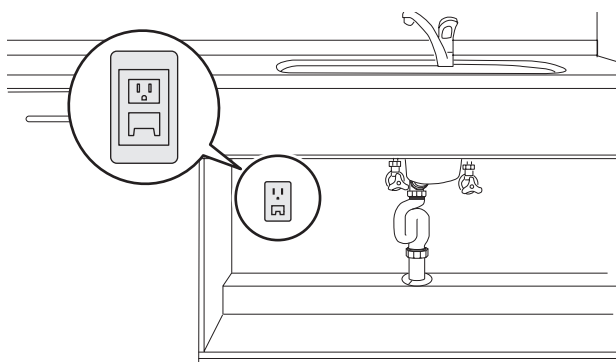
電気工事、アース工事はすべて電気工事士の有資格者が、電気設備の技術基準に準じて行ってください。

1 電源コンセントの撤去、移設

- 1) 既設食洗機の背面にある電源コンセントを撤去します。

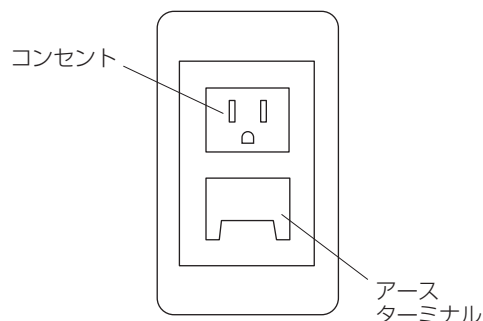


- 2) シンク下のスペースに電源コンセントを移設します。



2 電源コンセントの設置

- 1) 電源コンセントは、定格表示125V、15Aの露出形または埋込形のアースターミナル付接地極付コンセントを使用してください。

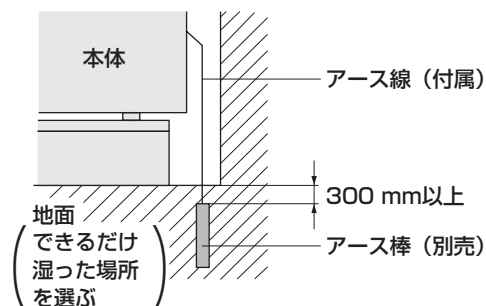


- 2) 電源コンセントは、本体の電源コードの長さ（約1.4m）が届く範囲内で、メンテナンス上プラグの脱着しやすい位置に設置してください。

3 アース（接地）の設置

- 1) 感電事故防止のため必ず電気工事士によるD種（第3種）接地工事を行ってください。（法令により規定）
- 2) ガス管や水道管、電話や避雷針、および漏電しゃ断器を入れた他の製品のアース回路には接続しないでください。（法令により禁止）
- 3) アースターミナル付きコンセントは、接地抵抗値100Ω以下のものをご使用ください。

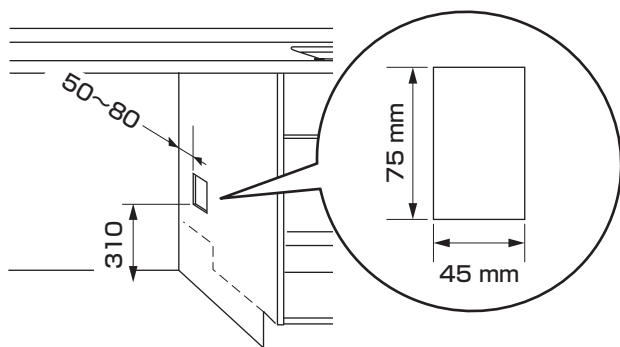
アース棒を使用の場合



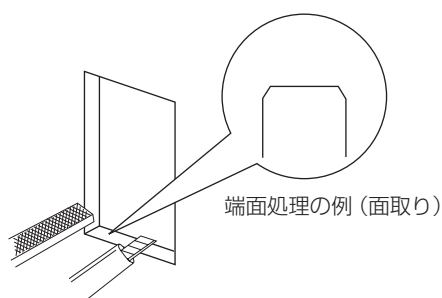
6 給・排水ホースの通し穴の加工

1 給・排水ホースの通し穴の加工

- 1) 食洗機を設置するキャビネット側面に給水ホース・排水ホース・電源コードなどを通すための貫通穴 (75×45) を下図の位置にあけます。



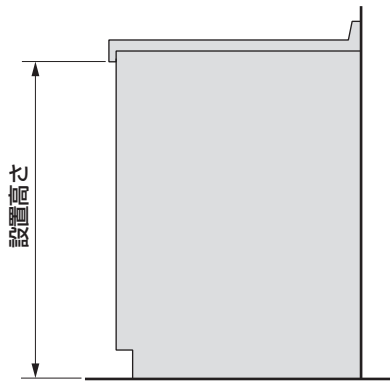
- 2) 貫通穴の端面をカッターや、やすりなどでバリがないように処理する。



7 入替機器の準備と設置

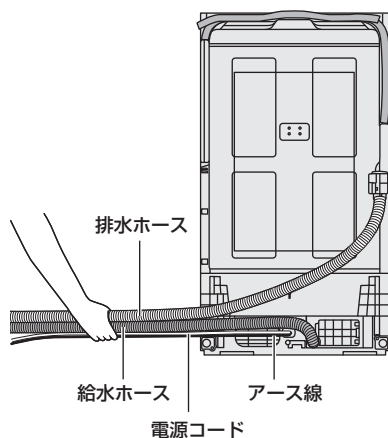
本体・付属品を確認のうえ、取付設置説明書に基づいて設置します。

1 本体設置高さの確認

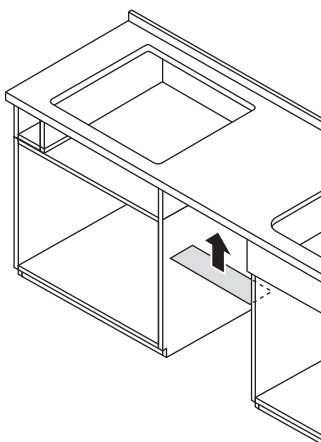


※ キッチンの高さや隣接ケコミの高さにより、本体の設置高さが異なります。詳しくは取付設置説明書を参照ください。

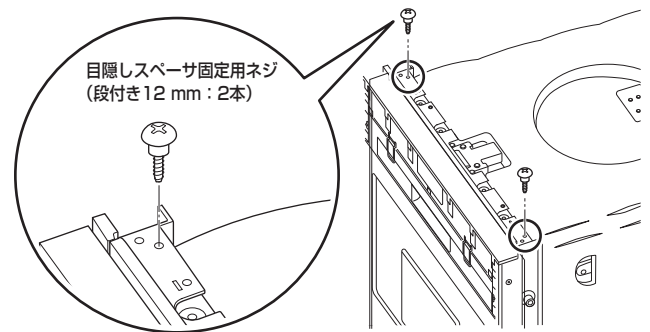
2 ホース・コード類の処理



3 保護シート（ワークトップ用）の取り付け

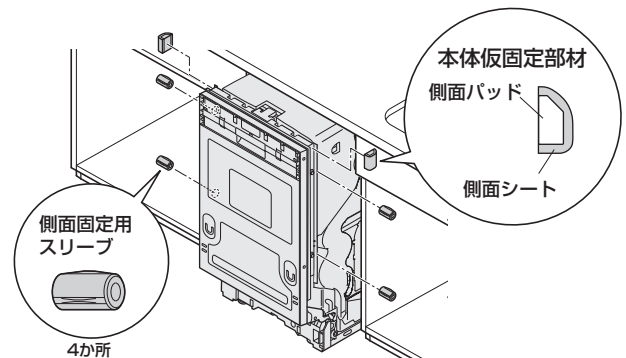


4 本体への目隠しスペーサ固定用ネジ取り付け



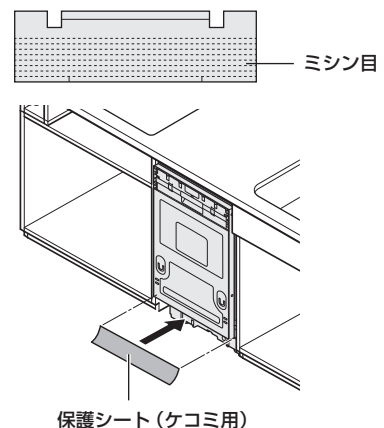
※ キッチンの高さにより不要な場合があります。詳しくは取付設置説明書を参照ください。

5 本体のビルトイン



※ 側面固定用スリーブは、外側または内側のどちらからでも取り付けすることができます。
※ 本体仮固定部材は、本体とキャビネット間の緩衝材になります。

6 保護シート（ケコミ用）の取り付け



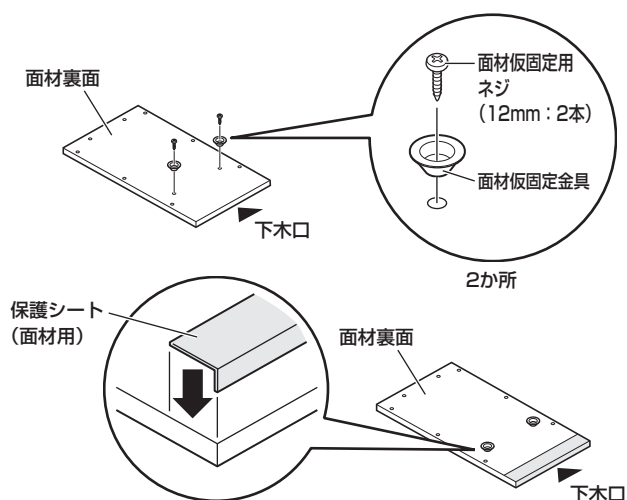
1 買替え施工の手順

NP-45EF1WPE

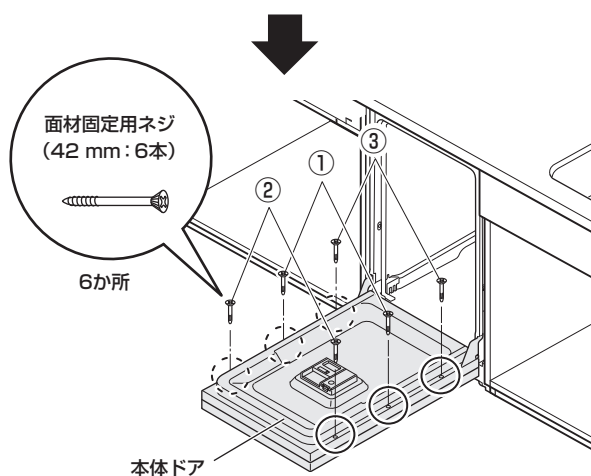
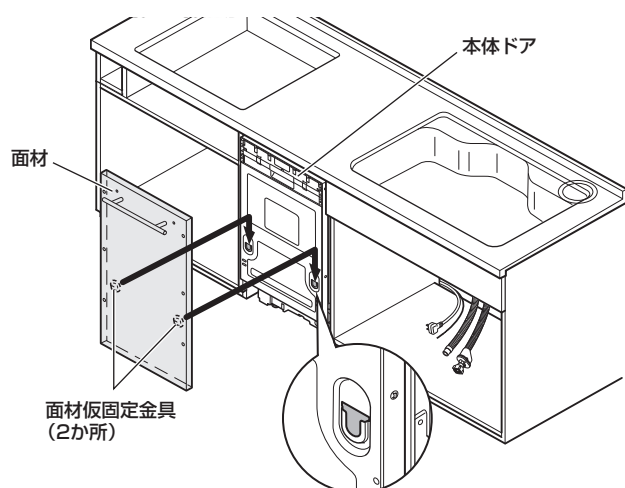
幅45cm
機種

7 本体への面材取り付け準備

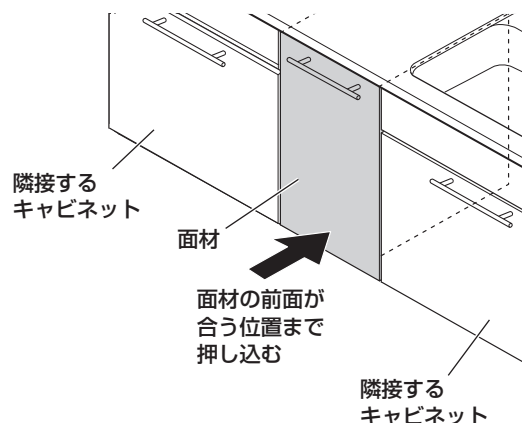
<面材は別途準備してください>
※別売りの面材もございます。



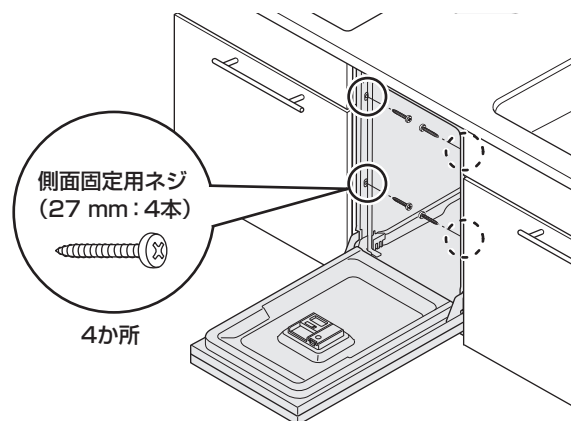
8 本体への面材取り付け



9 本体と隣接キャビネットの位置調整

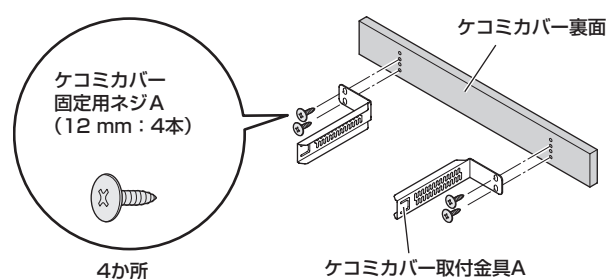


10 本体の固定

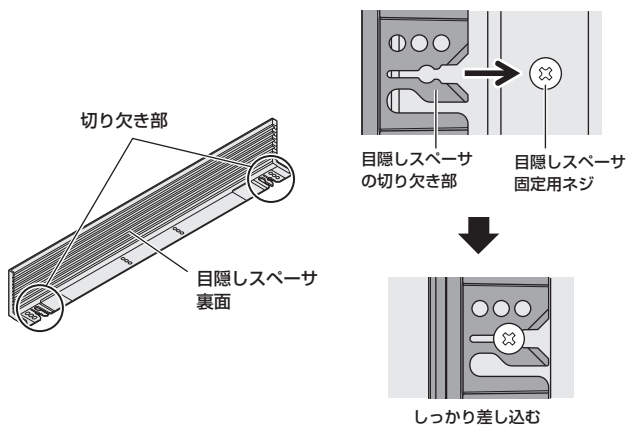


11 ケコミカバーの取り付け

<ケコミカバーは別途準備してください>
※別売りのケコミカバーもございます。



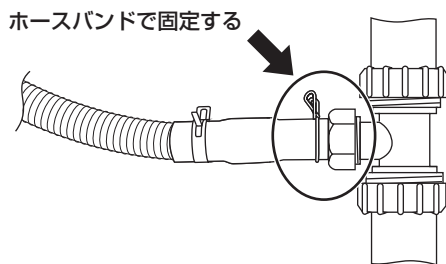
12 目隠しスペーサの取り付け



※ キッチンの高さにより不要な場合があります。詳しくは取付設置説明書を参照ください。

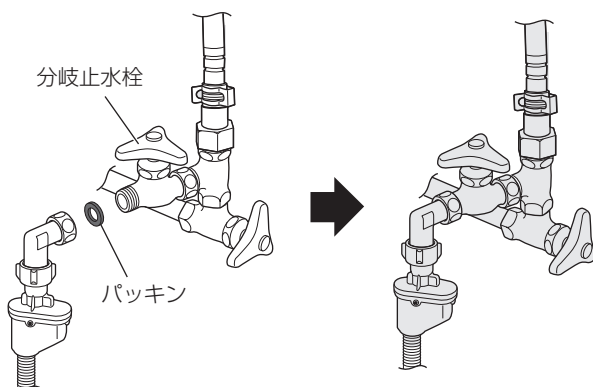
13 排水ホースの接続

< 給排水接続キットは別売りです >



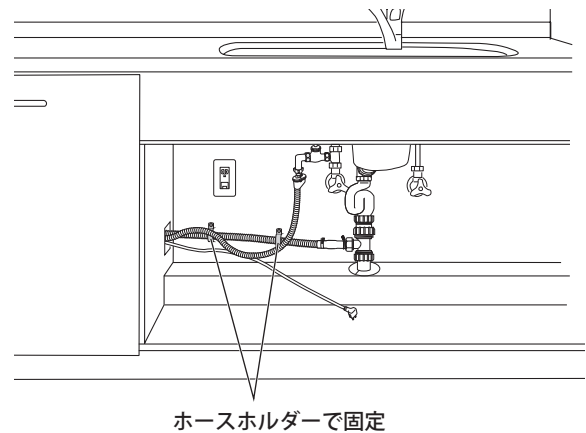
14 給湯（給水）管との接続

< 給排水接続キットは別売りです >

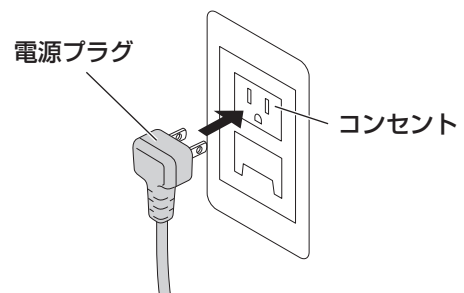


15 給水・排水ホースの固定

< 給排水接続キットの同梱部材をご使用ください >



16 電源コード・アースの接続



17 試運転を行う



18 確認を行う

水漏れ確認（矢印の箇所）

